

令和6年度 学校マネジメントシート

学校名(三重県立久居農林高等学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業と家庭の専門性を生かし、地域社会を担う将来のスペシャリストを育成する学校 ・ 「生物」「環境」「生活」の情報発信基地として、地域に貢献する学校
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に活動できる生徒 ・ 社会貢献に意欲的に取り組む生徒 ・ 自他を尊重し、自己の成長を実感できる生徒 ・ 将来の地域を担い、地域のリーダーとなる意欲を持った生徒
	ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動や取組の意義・目的を常に意識し、目指す学校の姿の実現に向けて、「チーム農林」で取り組む教職員 ・ 教科や分掌の専門性を高め、改善活動に取り組む教職員 ・ 生徒の成長に喜びを感じながら充実感を持って、丁寧かつ柔軟に業務に取り組む教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安心安全で楽しく過ごせる学校 ・ 自己の存在が実感できる学校 ・ わかりやすい授業 ・ 進路希望の実現 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの成長を支える信頼できる学校 ・ 進路希望の実現 ・ 職業観・勤労観および基本的な生活マナーの定着 <p><地域住民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に開かれた学校 ・ 地域を担い、リードする人材を育てる学校 ・ 基本的な生活マナーの定着 	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力定着、進路希望実現 ・ 安心・安全に学べる環境 ・ 卒業後のケア <p><地域住民・産業界></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育資源の提供 ・ 知識や技能・意欲を有する生徒の育成 ・ 基礎学力の定着 <p><近隣保・幼・小・中・高校等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育資源の提供 ・ 連携の強化 	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活指導等への理解と協力 ・ 学校行事への参加 ・ 家庭における基本的な生活習慣の確立 <p><地域住民・産業界></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育方針等への理解 ・ 教育活動への協力 <p><近隣保・幼・小・中・高校等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育方針等への理解 ・ 連携の強化 ・ 連携事業への協力

	(3)前年度の学校関係者評価など	<p>○生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頭髪・服装指導は年間8回必要か。来校時や連携事業の際の生徒の様子や対応から、とても感じの良い立派な生徒が多いように思う。 <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通科にはない学びがたくさんあり、なぜ定員割れしているのか理解できない。学習内容や地域との連携、卒業後の進路状況、生徒の様子等が、中学生やその保護者、中学校の教員に、十分浸透できていないのであれば、新たなPR方法を検討してはどうか。 ・ 中学生やその保護者の中には、とりあえず普通科に進学した後にその後の進路を決めたいとの希望の人がいる。中学校で目的意識を持たせる進路指導がより充実できるようにする必要がある。 <p>○働き方の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校でも教員の働き方改革が必要であり、教員の負担感を減らすため、保護者や地域の方に助けてもらうようにしている。(例:朝の交通指導等)
(4)現状と課題	教育活動	<p>○地域と連携した教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わくわく農林塾は、生徒が同じ地域の異年齢の子どもと一緒に活動したり、自ら学んだ内容を教えたりすることを通して、学びを深めるとともに、一緒に活動する子どもにとって、高校での学びを身近に感じることができる機会となっていることから、今後も継続する必要がある。 ・ 地域の協力を得て、各コースの学びを活かした商品開発やレシピの提供、イベントへの出店等に取り組むことで、生徒の評価が高まってきている。また、卒業生にとっても母校への誇りにつながっている。今後も、地域の活性化に寄与する教育活動を推進するとともに、事業所から採用したいと感じてもらえるよう、生徒の活動の様子を発信していく必要がある。 ・ 三重県農業大学校との連携において、見学以外の方法を検討する必要がある。 <p>○学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある授業を展開することを通して、生徒の学ぶ意欲を向上させる必要がある。 ・ 月に1～2回行っている漢字テストの年間表彰者が減ってきている。生徒の意欲の向上や目的意識の醸成につなげるための改善策を検討する必要がある。 <p>○キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度はインターンシップや進路ガイダンスで生徒が直接、事業所や上級学校の担当者から話を聞く機会を一昨年度より多く設けることができた。生徒が主体的に進路選択できるよう、体験的なキャリア教育を充実させる必要がある。 <p>○生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が主体的に考え行動できるよう、生徒の自己指導能力を育成する必要がある。 ・ 遅刻指導に力を入れているが、遅刻を繰り返す生徒が多くおり、効果的な指導のあり方を検討する必要がある。 <p>○学校行事の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校を大切にする心を育むために、学校行事に生徒、教職員が皆で取り組み、充実感を得られるようにする必要がある。 <p>○保健管理の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な悩みを抱える生徒に対応できるよう、生徒がいつでも人目を気にせず相談できる環境を整える必要がある。

	学校運営等	<p>○組織運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「同僚性」を大切に職場環境づくりが重要であり、生徒のみならず教職員一人ひとりの個性が尊重され、同じ目標に向かって協働できる職場づくりを進める必要がある。 <p>○資質向上の取組、信頼される学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人ひとりの得意分野をさらに高めるとともに、「育みたい生徒の姿」について教職員が共通理解を持って取り組めるようにする必要がある。 <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、学校関係者評価委員会の提案を受けて、公式インスタグラムを開設した。各コースからの投稿数も多く、フォロワー数も増加している。今後も継続して発信し、フォロワー数を伸ばしていく必要がある。 ・本校の魅力発信や中学生の主体的な進路選択につなげるため、中学生やその保護者、中学校の教職員に授業を見学してもらえるようにする必要がある。また、高校生の様子を見たり聞いたりできる機会を増やす必要がある。 <p>○働きやすい職場環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の教職員が業務にやりがいを感じて取り組めるよう、適正な業務分担を進めるとともに、安心して業務に取り組める環境をつくる必要がある。 ・教職員がゆとりを持って生徒と向き合うことができるよう、教職員以外でも対応できる業務に、地域やPTA、外部人材等の協力を得られるようにする必要がある。
--	-------	--

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動</p> <p>【カリキュラム・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らの学ぼうとする意欲を高めるため、生徒が課題を設定し解決する学習活動を推進する。 ・生徒の確かな学力の向上を図るため、教員が積極的に授業改善を進め、「わかる授業」「興味を喚起する授業」を行う。 ・生徒の進路希望を実現するため、「チーム農林」で組織的に進路指導を進める。また、あらゆる教育活動をキャリア教育の視点で捉え、就職・進学先の先を見据えた進路指導を推進する。 ・生徒が農業クラブや家庭クラブの活動を通して探究活動を行い、学習成果の発表や意見交換をする場に積極的に参加できるよう支援する。 ・大学や産業界等と連携して実践的な職業教育を推進し、三重の産業で活躍する人材を育成する。
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「夢と感動の実現」を合言葉に、教職員自ら研修し、学習内容の充実や学力向上につながる授業改善に努める。 ・不祥事等を絶対起こさないよう、学校信頼向上委員会での取組を推進し、全教職員でより一層地域に信頼される学校づくりに取り組む。 ・教職員が業務に充実感を得られるよう、互いに認め協力し合い共に働ける「チーム農林」を進める。 ・学校の課題や情報を共有し、継続的に改善するための仕組みが機能するようにする。

4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・強い志をもち、学習に意欲的・継続的に取り組むとともに、その学習を生かした資格取得などに積極的に挑戦しようとする生徒 ・高校で学習する専門的な内容等を生かした進路実現を果たそうとする生徒 ・部活動や生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に取り組める生徒
--	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>(1)生徒が主体となる授業の実践</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわく農林塾:各コース2回以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事後アンケートで自分の成長を感じたと回答した生徒の割合:90%以上 <p>(2)わかりやすい授業づくり</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科やコース等における授業見学:一人1回以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業がわかりやすいと回答した生徒の割合:90%以上 	<p>(1)全コースで合計31回実施。</p> <p>【成果】</p> <p>農業科 92.2%</p> <p>生活デザイン科 93.6%</p> <p>(2)11月11日から15日までを授業公開期間として、校内外に授業を公開した。</p> <p>【成果】</p> <p>1年94.6%</p> <p>2年90.1%</p> <p>3年96.3%</p>	
キャリア教育の充実	<p>(1)進路ガイダンスの充実</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンス:各学年2回以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの進路ガイダンスにおける生徒満足度:95%以上 <p>(2)主体的に進路を選択し実現する力の育成</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ:1回以上 ・担任面談:随時 ・進路ガイダンス:各学年2回以上 ・履歴書、志望理由書、面接等の指導:随時 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年内に就職が内定した生徒の割合:95%以上 ・第一希望の大学・短期大学に合格した生徒の割合:90%以上 	<p>(1)生徒の学習習慣の定着や進路選択、進路決定等につながるよう、各学年2回以上実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>1年①99.7%、②99.5%</p> <p>2年①96.7%、②100%</p> <p>③99.5%、④94.0%</p> <p>3年①99.5%、②96.1%</p> <p>③99.0%</p> <p>(2)各コースや学科におけるインターンシップ、現場見学会、出前授業、講演会等の取組や全教職員による面接指導等を実施した。</p> <p>【成果】</p> <p>就職内定者率100%</p> <p>大学等への合格率94.6%</p>	
生徒指導の充実	<p>(1)服装・頭髪等の身だしなみ指導の徹底</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭髪・服装指導:年7回 ・声かけ:随時 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭髪再指導者の割合:5%以内(年度最終) <p>(2)いじめを許さない学校づくり</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラポール(いじめ)アンケート:年間3回 ・面談週間:年3回 	<p>(1)頭髪・服装指導を年間7回実施した。</p> <p>【成果(1月末現在)】</p> <p>4.0%</p> <p>(2)ラポールアンケートを学期に1回実施し、その後、担任による面談を実施した。アンケートから生徒の困り事等を把握し、その都</p>	

	<p>・声かけ週間:年10回(毎月第三週)</p> <p>【成果指標】</p> <p>・いじめ解消率:100%</p> <p>(3)規則正しい生活習慣の確立</p> <p>【活動指標】</p> <p>・規則正しい生活習慣を身につけるための指導:随時</p> <p>【成果指標】</p> <p>・学校全体の遅刻の総数:700回以下</p> <p>・遅刻10回以上の生徒:10人未満</p>	<p>度聞き取りをしている。</p> <p>【成果】</p> <p>解消に向けて取り組み中</p> <p>(3)ホームルーム担任が遅刻の多い生徒に声かけを行うとともに、生徒指導主事が全校集会で時間を守ることの大切さについて話をする等した。</p> <p>【成果(12月末現在)】</p> <p>遅刻総数1,143回</p> <p>遅刻10回以上の生徒13人</p>	
保健管理の充実	<p>(1)健康管理の充実</p> <p>【活動指標】</p> <p>・生徒自身が健康状態を把握し、健康の保持増進の意識を高めるための健康管理に関する指導:随時</p> <p>【成果指標】</p> <p>・すべての検診を受診した生徒の割合:100%</p> <p>(2)相談活動による生徒の不安解消に向けた支援の充実</p> <p>【活動指標】</p> <p>・SCによる相談:6時間×36回以上</p> <p>・発達障がい支援員の招聘:月6時間</p> <p>【成果指標】</p> <p>・保護者アンケートの「生徒の悩みや相談への適切な対処」について、肯定的な回答をした保護者の割合:70%以上</p> <p>(3)命とからだを大切にすることを育む教育活動の充実</p> <p>【活動指標】</p> <p>・生徒向け研修会等:各学年1回以上</p> <p>【成果指標】</p> <p>・事後アンケートで満足と回答した生徒の割合:90%以上</p>	<p>(1)保健だよりで健康管理の大切さを伝え、保護者への健診結果報告を促すとともに、健康不安のある生徒の相談に応じるなどした。また、生徒がよく利用する廊下にモニターを設置し、ストレスの対応方法などの動画を流すことで、生徒の心の健康に役立てるようにした。</p> <p>【成果】</p> <p>100%</p> <p>(2)友人関係や家庭状況、学校生活等に不安や悩みを抱えて来室する生徒を対象に、SCや教育相談員、発達障がい支援員、SSW、児童相談所等と連携して継続した支援を行った。</p> <p>【成果】</p> <p>82.9%</p> <p>(3)性教育講話では「知らなかったことを詳しく教えてもらい、将来に役立てていきたい。」との感想が寄せられるなど、保健指導を充実させることができた。</p> <p>【成果】</p> <p>1年生97.1%</p> <p>2年生97.4%</p> <p>3年生95.1%</p>	
改善課題			
<p>○学習指導の充実</p> <p>・わくわく農林塾は、生徒の成長や普段見られない一面を発見できることから、今後も継続が必要である。さらに、小中学生に将来行きたい学校としての魅力を発信できるようにする必要がある。</p> <p>・学校生活アンケートでは、「授業がわかりやすい」との回答が目標を上回ったが、学習に対する意欲や理解に課題のある生徒もあり、生徒が学習に前向きになれるよう学校全体で工夫する必要がある。</p> <p>○キャリア教育の充実</p> <p>・生徒が企業や上級学校の話や直接聞くなど、昨年度よりも進路ガイダンスの充実を図れたが、生徒が日頃からビジネスマナーの基本を身に付けられるようにする必要がある。また、教育活動全体を通して職業生活や社会生活の基盤となる力の育成を図る必要がある。</p>			

○生徒指導の充実

- ・ 基本的な生活習慣の確立やマナー・ルールに関する意識の向上は社会で生きる上で大切なことであり、特に、遅刻を繰り返す生徒への指導が課題である。時間を守ることは約束を守ることや人を大切にすることに繋がり、遅刻することは学校生活や授業に興味・関心が希薄となる要因でもある。教員が授業を大切に、魅力ある授業を展開することで生徒の学ぶ意欲を向上させる必要がある。

○保健管理の充実

- ・ 生徒の心と体の健康により一層寄り添っていく必要がある。また、保健室が他では話せないことを話せる場所となることや、学習活動ができる別室の確保がさらに必要である。

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	<p>(1)教職員の意見をもとにした業務改善の実施 【活動指標】 ・ 業務改善提案:年1回(10月末) 【成果指標】 ・ 提案により改善できた業務:50%以上</p> <p>(2)魅力ある学校であり続けるための課題解決等に向けた検討 【活動指標】 ・ 「農林の現状と未来を考える会」による検討:年5回以上 【成果指標】 ・ 「農林の現状と未来を考える会」の提言を踏まえた改善及び改善に向けた検討:100%</p>	<p>(1)業務改善提案を10月と12月に実施した。 【成果】 63.3%</p> <p>(2)「農林の未来と現状を考える会」を4回開催し、改善提案の検討及び6クラス編成への教育課程の検討を行った。 【成果】 100%</p>	
資質向上の取組、信頼される学校づくり	<p>(1)指導力の向上 【活動指標】 ・ 生徒指導や教科指導に係る研修、コンプライアンス研修、ICT研修、人権研修等:各学期1回以上 【成果指標】 ・ 事後アンケートで満足と回答した教職員の割合:85%以上</p>	<p>(1)各学期1回以上、本校の課題に応じた研修を実施した。いずれの研修も満足度は高かった。特にアンガーマネジメントに係る研修では、多くの気づきのある研修であった。</p>	
情報発信	<p>(1)積極的な情報発信 【活動指標】 ・ 学校HPの更新:随時 ・ インスタグラムによる情報発信:120件以上 ・ 学校のPR(新聞報道、テレビ等):20件以上 【成果指標】 ・ 保護者アンケートで、「HP等により学校の様子が伝わってきた」と回答した保護者の割合:80%以上</p>	<p>(1)インスタグラムへの投稿や新聞等への掲載が活動指標に届かなかったが、インスタグラムへの情報提供を積極的に行い、フォロワー数が675件(R5:291件)と増加した。 【成果】 70.8%</p>	

働しやすい職場環境づくり	<p>(1)総務部業務時間の縮減</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定した日の定時に退校できた教職員の割合:80%以上 ・予定通り休養日を実施できた部活動の割合:95%以上 ・放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合:90%以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数:0人 ・時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の延べ人数:0人 ・1人当たりの月平均時間外在校等時間:25時間以下 ・1人当たりの年間休暇取得日数:13日以上 	<p>(1)定時退校できた職員95.2%、休養日を実施できた部活動100%、60分以内に終了した会議60%であった。</p> <p>【成果(12月末現在)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数22人 ・時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の延べ人数157人 ・1人当たりの月平均時間外在校等時間 25.9時間 ・1人当たりの年間休暇取得日数 4.7日 	
--------------	--	--	--

改善課題

<p>○組織運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員が悩みを抱え込むことのないよう、風通しのよい相談しやすい職場づくりが急務である。同僚性を高め、教職員が一丸となって同じ目標に向かって協働できる職場づくりが必要である。 <p>○資質向上の取組、信頼される学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業・家庭科の専門高校として、地域や産業界、保護者から求められる力の育成について、教職員が共通理解を図り、時代に応じた教育活動を実施する必要がある。 <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式インスタグラムの投稿数をさらに伸ばし、各コースならではの魅力的な取組を積極的に発信する必要がある。また、各報道機関への学校からの働きかけも重要である。 <p>○働しやすい職場環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な業務分担と業務に遣り甲斐を感じられることがとても大切である。そのうえで、誰もが安心できる居場所づくりが必要である。
--

6 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 榊原地区との産学官の連携事業では、食品コースと食生活コースの生徒に土産物やランチメニューの開発に取り組んでもらっており、地域を訪れる方から高評価をいただいている。また、高校生が店頭で接客する姿は、地域に元気と活力を与えてくれている。学校では経験できない実学は子ども達の成長にもつながるため、今後も、産学官の連携事業に積極的に取り組んでほしい。 ・ 授業見学をした際、電子黒板をうまく活用している授業があった。良い実践であり、今後も積極的に活用してほしい。 ・ 中学校では、ペアワークやグループ活動を取り入れ、教員が伴走者となって生徒の主体性を育む授業に取り組んでいる。高校においても授業改善は積極的に取り組むべき課題である。 ・ 中学校では遅刻をしてでも学校へ来るように促している。高校での遅刻指導は社会へ出るための準備としてのものと思うが、校種間で指導の整合性を図ることができる。とよい。 ・ 次年度、三重県で開催されるPTA全国大会で、本校は歓迎部門の担当として全国から訪れる方をもてなす。学校のPRをする良い機会でもあるし、生徒のモチベーションの向上にもつながる機会となるため、生徒も積極的に参加できるとよい。
----------------------------	--

7 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との連携やわくわく農林塾の取組が、生徒の主体性や探究心をより育めるよう、内容の充実を図る。 ・ 生徒の実態に応じた教材や授業展開の工夫がさらに進むよう、学校全体で「生徒による学習評価」に取り組む。 ○キャリア教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門学校や地域の事業所、各種団体等と連携した出前講座、現場見会等が、生徒の学びの深化や、将来の職業生活や社会生活の基盤となる力の育成に繋がるよう、教科科目やキャリア形成との関連性を踏まえて更に充実させる。 ○生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室環境の整備や授業規律の徹底、落ち着いた学習環境づくりに取り組む。 ・ 生徒の状況を踏まえた指導や学校全体で統一した指導が一層進むよう、課題を明らかにし、必要に応じて指導の内容や方法の改善を図る。 ○保健管理の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室が落ち着ける場所でない生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、本年度設置したモニターを利用して心と体の健康に関する情報を随時タイムリーに発信していく。また、生徒が相談しやすい環境づくりに努める。
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○組織運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒や教職員、地域にとって魅力ある学校づくりが進むよう、「農林の現状と未来を考える会」及び「学校のあり方検討委員会」で課題解決に向けて継続して検討し改善活動を進める。 ○資質向上の取組、信頼される学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒及び保護者、教職員のアンケート結果などをもとに、学校課題を明らかにし、教育活動を行う。 ・ 生徒理解や保護者理解に関する知識や技能を深めるための研修会を実施する。 ○情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公式インスタグラムや各種メディアを活用して本校の魅力をより発信できるよう、インスタグラムの活用方法やプレスリリースの方法等を共有する。 ・ 生産物の販売や学習成果の発表など、実際に生徒の活動する姿を通して学校の魅力をより発信できるようにする。 ○働きやすい職場環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「生徒にとって重要なこと」と「教職員が遣り甲斐を持って取り組めること」の視点から、日々の取組や仕組みの見直しを行う。